

びっぴだより

No.3 2020.6.2

びっぴの監事のゆばあきらです。

コロナの影響で、こどもたちも保護者の皆さんも外出を控える日々が続いていたと思います。私の本業は公認会計士で、会計監査が主な仕事です。会計監査業務も、3月以降、リモートで行うことが増えました。Webで会議をし、資料はクラウドストレージで共有です。

これまででは、監査先の会社等に行き、直接話を伺ったり、資料を見せていただいたりして監査していましたので、はじめは戸惑いもありました。しかし、やってみると、移動時間が減ったり、資料の整理もしやすくなったりで、なかなか便利です。コロナ終息後も、直接伺う監査と、リモートでの監査を組み合わせることで、効率が良くなると考えています。

私と同様、職場に行かなくてもかなりの仕事が問題なくできると感じた人も多いと思います。職場に行かなくても仕事ができるならば、広いオフィスは不要です。コロナの影響で登校できない間、オンラインで授業を行っている学校も多いですが、これまでのように大きな校舎は必要ないのかもしれない。

一方、うちのお客様の中でも、これまで通り仕事を続けていた業種もあります。障がい者のグループホームや常駐して保守を行っている仕事などです。これらの仕事は、コロナの感染リスクがあっても、休むことはできません。他にもきつと感染リスクがあっても休まず出勤しなければいけない仕事はたくさんあるでしょう。コロナ後のビジネススタイルは、コロナ前には戻らないと言われていますが、それらの仕事は、オンラインに置き換えることはできません。

さて、びっぴの場合はどうでしょうか。

びっぴは、オンライン等で情報や知識を伝えることが使命ではありません。自然の中でこどもたちに多様な体験の場を提供することがその役割だと思っています。

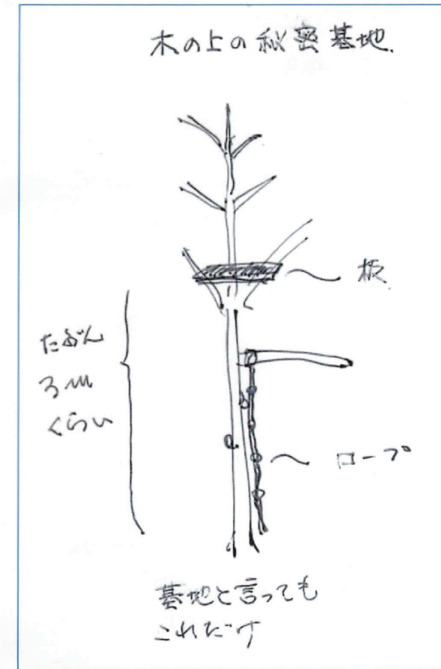
私は、こどもの頃、東京新宿の野原で（当時は野原がありました！）、近所の友達と木の上に基地づくりをしたり、茂る草の中でかくれんぼしたりして遊んだ経験があります。

さて、私が「木の上に基地づくりをした。」と言ったときに、その言葉はどれほどのことを伝えているでしょうか。私にとっては、木に登るこわさ、友達と協力して上に材料を運び上げたこと、上から見下ろす快感、日の光、風の香などなど様々な体験が詰まっています。「草の中でのかくれんぼ」では、草の香りや足元の虫の動き、鬼が近づいてくるのを来るのを草の間から息をひそめて見つめていたことなどを感覚として思い出します。

残念ながら、言葉で伝えられることは限られています。しかし、同じような体験をしたことがある人にとっては、言葉は空疎なものではありません。その言葉は、自分の豊かな体験に裏

付けられた色彩豊かなものとなるのです。

ところで、昨年末から3か月ほど、きつい仕事が続き、精神的にはかなり追いつめられていました。そんな時、朝、飼い猫のフフの散歩をしていると、こどもの時の体験がよみがえりました。我が家では、普段猫は家の中で飼っていますが、犬のようにリードを付けて近所を散歩させるのです。フフがとても楽しみにしているので、どんなに疲れていても毎朝散歩に連れて行きます。



フフと家の裏の野原を歩いていると、朝日を浴びた草が気持ち良さそうに風に揺れています。それを見ていたら、心が新宿の野原にトリップしました。自分は仕事で追いつめられているけれど、ここには何も変わらない自然がある、そんな風を感じたのです。それで、気持ちが楽になりました。心はいつでもそこに帰ることができるのです。仕事をしている時の自分の心と野原にいる自分の心はつながっています。こどもの頃の体験は、私の心の背景色を決めているのです。

びっぴは、こどもたちが自然の中で仲間や先生、時には保護者の方たちと過ごす大切な体験の場です。こどもたちが大人になって、もしつらい事があっても、心の背景にはびっぴでの体験があります。心はいつでもびっぴの森に戻れるのです。

コロナの危機が去るまで、びっぴでも感染防止対策を徹底することはもちろんですが、こどもたちが、いつでも安心して多様な体験ができる場に早く戻ってほしいと願っています。

ゆばあきら

木々のみちくさ Sketchbook

5月

ススぷりにびらびの森に来たGW明け。桜が満開で新緑の優しい緑と爽やかな空。あまりに美しく、息子と2人しづらく空を見上げていました。周りには風に散る花びらと拾おうとかけ回る子どもたちの姿がありました。

そんな日から半月あり... ひと雨ごとに森が、木々がワーッと緑に変わっていききましたね。季節は新緑から万緑へ。緑で森が溢れています。色も形も様々な葉っぱや花だらけの森はすかり賑やかになりました。 ということで、今月は1~6までの数にちなんで種物たちをスケッチしました。ぜひ、びらびの森や家の周りでお子さんと一緒に探してみてください！ 全てみつけた方、こんなものもあるよ等々、ご報告、お待ちしております！(笑) 葉々丸

1. ハナイカダ (花後) 葉の上の花。(時に2つある)

2. ウグイスカグラ (籠神草) 赤いペンのような葉がそろそろ子どもたちもあたまにバクバクお花とまをいらい(笑)

3. ミツバウツギ (三葉松木) 白く小さいお米の穂のようだが、甘い香りの香りに包まれる

4. アカサギ 根を薬料にし、漢方では止血薬に。

5. テケ (木通) 5本の葉っぱが、あまーい匂いする。香りの花。紫とクリーム色の花が咲く。今がブルーベリーという葉の通り、葉が黄、しています。この葉とその玉を熱湯に7~8分、煮ると香りの黄緑色の美しいお茶になります。余計な(工場の)産物の体や生薬類などの雑音、冷たいなどは、カフインレスなので、子どもも安心して飲むことができます！ぜひ森でみつけたらお試しください！

6. スズラン (鈴蘭) 4~5センチの中間の花。白くは6センチほど。花の直径は3センチ、長さ3センチ。花の中心は黄色い。お花は3センチ。ex. チューリップ、ヤマドリ、ワサビ、エリカ、ユウ、ユウ

今月のTeatime ☕
タコウバ茶
びらびの記念樹にもなる、このタコウバ(海鼠船の産物にありす。)森の中でもよくみかけます。春一番に黄色い花を咲かせ、今はブルーベリーという葉の通り、葉が黄、しています。この葉とその玉を熱湯に7~8分、煮ると香りの黄緑色の美しいお茶になります。余計な(工場の)産物の体や生薬類などの雑音、冷たいなどは、カフインレスなので、子どもも安心して飲むことができます！ぜひ森でみつけたらお試しください！

田んぼと火から

お田植え ありがとう ございました！

青空の下... 田植え作業を楽しんでいる子。これだけ植えたなら何して遊ぶ、と考えている子。田んぼには入らないと決めている子。泥んこがイヤだったことが嘘のように全身泥だらけの子。ここで泣きたいと言合す子。お父さんやお母さんと一緒に、びらびを存分に味わう子...

小さな子どもからしたら、大きな田んぼに裸足で入ることは、底がわからない巨大な泥池に足を踏み入れる感覚がかもしれません。まだまだそこには行きたくない、ほかのことが気になる、気にしながら様子を伺っている、むしろ別のことに集中、の子も。

いろいろな気持ちがある。そこにあって、同じ時間の中にいる。これまでの日常があたりまえではなくなっている今、こうやって同じ場所に集まって、少し離れたところにいる。会話を感ぜられ、過ごせること、お天気にも恵まれ、田植えをみんなでできたこと、本当に有難い時間でした。広い田んぼ、馬車スペースなどを貸してくれた、土壌にも感謝です。

来年はもう少し苗を大きく太く育てられたらなあ、などなど思いながら.. 苗がしっかり育っておいしいお米ができますように。みなさまおつかれさまでした！

そして、泥んこお洗濯、いつもありがとう ございます！



※ 火... 雨で 延期月になっている
じゃがいも植えにおおきくみ
のこともちと行ける日も
もうすぐ♪ 楽しみにしています。
はるこ